

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+3.9	+4.5
令和5年度	+5.2	+1.0
令和4年度	+3.0	+8.6

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立両城中学校
(両城中学校区)

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化 本校 62 % 全国 58.1 % 県 58 % 数と式 図形 関数 データの活用 本校 57 % 全国 52.5 % 県 52 %	重点課題	◎文章に書かれていることを理解するために、必要な情報から着目する内容を決めて要約することに課題がある。(設問2四)【読むこと】(正答率34.8%) ◇目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたり、必要な情報に着目して要約したりすることに課題がある。【思考・判断・表現】
	改善の方策	◎文章を読んで考えたことをまとめる学習の際には、叙述を基に文章の構造を適切に捉えさせ、要約のポイント等を押さえて書く学習活動を設定する。 ◇目的や意図に応じて、情報を結び付けながら、条件に従って書く活動を設定する。
	検証	◎全国学力の類似問題(第3学年 11月)目標50% 結果65.9% ◇標準学力調査(第1・2学年 12月)目標 全国平均との差+5.0 結果 第1学年-1.8, 第2学年-0.3
数学 数と式 図形 関数 データの活用 本校 57 % 全国 52.5 % 県 52 %	重点課題	◎事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。(設問8(2))【関数】(正答率15.2%) ◇グラフから必要な情報を読み取り、言葉や数を用いて説明することに課題がある。【思考・判断・表現】
	改善の方策	◎◇日常的な事象を数学的な見方で捉え、数学的用語を用いて説明する活動を充実させる。
	検証	◎全国学力の類似問題(第3学年 11月)目標40% 結果53.4% ◇標準学力調査(第1・2学年 12月)目標 全国平均との差+5.0 結果 第1学年+3.9, 第2学年+7.8

【来年度に向けて】

国語…条件を設定して書くことや、指定した時数で要約する学習を継続して行っていく。

数学…日常的な事象を数学的な見方で捉え、数学的用語を用いて説明する活動を単元のかたちで行う。